東海新報

発行所
㈱東海新報社
〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭9-1
電話番号 0192-27-1000㈹
ファクシミリ 0192-27-2154
振替口座 02300-9-188
©東海新報社
東海新報Web
http://www.tohkaishimpo.com/

**きょうの紙面**

大船渡町野々田ふ頭に救援物資保管用の白色テント設置進む…2面
支援の輪、海超えて―米崎町出身の吉田さん豪州から義援金…3面
高田一中体育館の避難場所、食材や調味料が不足しています…4面

本紙は、11日に発生した東日本大震災の影響で、13日から4ページ建て新聞を発行しています。3月いっぱい、**無料**で配布させていただいています。ご了承ください。
東海新報社

**安否情報・伝言メモ**

本紙は、安否情報や伝言メモを本社で随時受付しています。紙面をご自由にお使いください。また、窓口に当日発行紙を置いています。避難場所でもご覧になれます。

# 気仙丸は残った！

## 千石船 大船渡 復興の灯に

### 赤崎町に係留 大津波 乗り越える

大船渡市赤崎町蛸ノ浦漁港に繋留されていた復元千石船「気仙丸」が、津波の被害を受けずに無事であることがわかった。奇跡的に生き残った地域活性化のシンボルは、大船渡復興の灯となりそうだ。

気仙丸は、平成3年に気仙船大工たちが技術の粋を集めて建造した。

翌年の三陸海の博覧会に出展。これまで数多くのテレビや映画などにも使われ、毎年開催の「三陸大船渡夏まつり」では、東北最大級の海の祭典を盛り上げた。

ふだんは蛸ノ浦漁港前の尾崎神社近くの入り江に、灰色のシートで覆われて係留されていた気仙丸。今回の津波で多くの漁船が壊滅的被害を受けた中で、沈没や陸に打ち上げられることなく奇跡的に無傷で残った。

**大津波にも耐え、海上に船形をとどめる「気仙丸」＝赤崎町蛸ノ浦**

高台に避難した住民は「暴れ狂う海に浮かぶ木の葉のように漂いながら耐えていた。無事で残るなんてやっぱり尾崎（神社）さんが守ってくれたのでは」と、あの時を振り返る。

近くに住む東善兵衛さん（78）は「気仙丸は3トンブロックのアンカーロープ四つでハの字型に固定され浮かんでいた。ロープに余裕（ゆとり）があったので、波に呑まれず揺れ動きながらも同じところで踏ん張れたのではないかと思います」と目頭を熱くしていた。

ロープが切れたり大型の作業船や漁船、イカダなどにぶつからないでいたものだ」と驚いている。

気仙丸を建造した気仙船匠会の新沼留之進会長（80）は「大船渡湾内の惨状をみると、やっぱり気仙丸もダメだろうとばかり思っていたが、こうして健在な姿を目の当たりにして、ほっとしています」と語った。

# 大量のガスやコンロ

## JAグループ京都 15時間かけトラック3台で

### JAおおふなとへ

「煮炊きするものが欲しい」――そんな被災地の声にJAグループ京都が応えた。

JAおおふなとに29日、東日本大震災支援活動を行っているJAグループ京都がガスボンベやコンロ、鍋など大量の救援物資をトラック3台に積み込み15時間かけて届けた。

「何が必要か」という京都からの問い合わせに対して、被災者が煮炊きする燃料や道具が不足していることをJAが伝えると、山のような救援物資が運び込まれた。

その量は、ガスボンベ50本（50㌔充填）、三連ガスコンロ50個、寸胴鍋50個、木炭かまど50個、羽釜50個、金ヘラ100本。さらにガスボンベ調整器50個、ガスホース250㍍、着火ライター200個を加えて寄贈した。保安員10数人が同行し、安全に輸送した。

救援物資は、JA京都府連の梁川伊一副会長から県農協中央会の門脇功副会長に引き渡された。JA京都中央会長の知人の弓宇さん（北京在住）から申し出のあった支援物資も一緒に贈られた。

梁川副会長は「大変辛い思いをしている被災者の方々が少しでも癒されるように」と話し、門脇副会長は「JAグループの絆で、心配りはさすが。ありがたいことです」と御礼を述べた。JAおおふなとの菅生新一組合長も「組織の偉大さと協働の精神を感じます」と感謝の言葉を述べていた。

煮炊き用の燃料と道具は、大船渡、陸前高田の両市災害対策本部へ贈った。

JAいわて中央、いわてふるさとなど県内5農協も女性部が各地の避難所で炊き出しを行っており、姉妹農協のJAさがえ西村山からは米（はえぬき）が届いたほか、その他多くの救援物資がJAを通じて被災者に贈られている。

**ガスボンベやガスコンロ、鍋などをトラック3台で届けたJAグループ京都㊧＝JAおおふなと**

# 仮設住宅の整備進む

## 2カ所できょう新規着工

### 気仙両市

**大船渡市**

大船渡市によると、29日午後4時30分時点での死亡者数は268人で、前日よりも1人増えた。犠牲者の新たな身元判明者は7人。安置場所は立根町の第一中学校、三陸町綾里の宮野地区多目的集会施設の2カ所となっている。

一方、行方不明者数は243人となり、前日比で16人減った。生存を確認したのは9人、死亡判明は5人、すでに確認された死亡者との重複などで削除したのが3人。新たに1人の不明者を追加した。

捜索活動は自衛隊や緊急消防隊、海上保安庁、海上自衛隊ら200人体制で進められた。大船渡町の地ノ森地域から須崎川の間では、重機で倒壊家屋を掘り起こし、遺体捜索などを展開。大船渡湾や門之浜湾、綾里湾、越喜来湾では洋上捜索を行った。

同日は災害支援ボランティアとして105人が参加し、12日以降の累計では759人となった。義援金は44件から寄せられ、合計金額では1000万円を突破した。

市内の市立保育所や幼稚園、小中学校は「当面休校」の措置が続いている。授業の再開見通しについて、今野洋二教育長は「電気や水道といったライフラインの復旧が第一。給食設備がある程度復旧することも条件となる。早期再開に向けて努力しているが、今の段階ではいつ、とは言えない」と語った。

赤崎小や越喜来小、赤崎中では校舎が全壊被害を受けたため、復旧作業の長期化が見込まれる。今野教育長は、各校の児童生徒が他校で授業を受ける可能性もあるとの見方を示した。

市内54カ所に避難所があり、避難者数は4361人。被災者向けの応急仮設住宅整備は、すでに建設が進められている大船渡町の旧県立大船渡病院跡地（72戸）に加え、30日からは同町の大船渡北小（86戸）でも着工となる。

**陸前高田市**

陸前高田市は29日、前日に発表した27日午後6時現在の死者数について、1019人を974人に訂正した。28日同時刻現在では990人となり、前日より16人増加。このうち、身元が明らかになったのは36人となった。行方不明者は29日午後4時現在で1271人と、前日より26人減少している。

遺体安置所は下矢作小、米崎中、矢作小、矢作中4校の体育館と、住田町生涯スポーツセンターで、開所時間は午前8時30分から午後5時。市と県が指定した自治体で火葬が行われている。

住宅被害数は3600戸で、被災人員は1万547人。避難所は同日同3時現在、8地域に83カ所設置と前日より増えたが、避難者は8352人と921人減った。

市では27日から3日間、市内5カ所で行ったガソリン交付について、初日、2日目の動向を公表。2日間で給油券1237枚が使われ、各地で多くの利用があったとした。

また、仮設住宅の入居申し込み状況は、27、28日の2日間で1031世帯が申請。30日からは、米崎小学校グラウンドに30戸が着工されることも明らかになった。

**住田町**

住田町は29、30の両日、被災者を受け入れている町内世帯に対し、トイレットペーパーと飲み物、レトルト食品を配給。独自の仮設住宅は資材確保に苦戦しているものの当面100戸の建設を急ぎ、被災者の入居に関する庁内や県などとの検討が詰めの段階に入ってきた。

28日は派遣・研修、新採用、退職の人事異動を内示。発令は4月1日。定期異動は1～2カ月先送りして実施する見込みだ。

異動内容次の通り。

▽教育長・世田米保育園長事務取扱（教育長）佐賀篤

▽産業振興課森林林業日本一の町推進係長・三陸木材高次加工協同組合派遣研修（派遣研修継続）多田裕一

▽総務課主事併選管事務局書記（県派遣研修終了）水野英気

▽同課付岩手沿岸南部広域環境組合（派遣継続）佐藤修

▽同課付気仙広域連合（同）水野和人

▽町づくり推進課主事（新採用）澤村一輝

▽保健福祉課保健師（同）中山明日香

▽地域包括支援センター主事（同）菅野美沙子

▽教委事務局国際教育主事（同）美野マーク

▽退職（世田米保育園長）千葉和三

## 住田町役場の窓口業務

同町役場では窓口業務を行っており、住民移動届（転出・転入・転居など）は平日のみ、死亡・出生・婚姻などは休日も受け付けている。水道料や保育料などは税務課で納付できる。被災で使用不能となった軽自動車は税務課に届け出れば、23年度分からの軽自動車税を課税しない。今後の確定申告当日程は住田テレビなどで告知する。

被災地で転出証明書などを受けられないまま同町に転入する場合、これらは不要となる。同町に本籍がない人の出生や死亡届も受け付けている。

# 県営住宅を無料開放

## 来月5日まで 避難所で入居受付

県は、避難所にいる人たちの一時入居先として県営住宅を家賃無料で開放する。

各避難所で4月5日（火）まで入居申し込みを受け付けている。郵送の場合は同7日（木）必着。

避難者に提供する県営住宅は44戸。このうち大船渡市内は3戸（長谷堂、赤沢でいずれも2LDK）、陸前高田市内が1戸（鳴石3DK）。

隣接の釜石市内は27戸（日向、上平田で4Kと2LDK）。沿岸北の宮古市内は13戸（山口、八木沢、西が丘）。風呂釜、エアコン、照明器具、ガスコンロを現在整備中。

戸数に限りがあり、入居予定者は、優先区分1～3を設け、1から順に決定する。親世帯と子世帯の同居可能で、この場合どちらかの世帯が該当すれば申し込みできる。

優先1は、80歳以上の人がいる世帯、重度の障がいなどを有する人がいる世帯。

優先2は、特定疾患により居住の安定を図る必要がある人がいる世帯、中度の障がいなどを有する人がいる世帯、3歳未満の乳幼児がいる世帯、3歳以上15歳未満の児童が3人以上いる世帯、75歳以上の人がいる世帯。

優先3は、要支援1～2の高齢者などがいる世帯。

入居後1年間は家賃無料。敷金、連帯保証人は不要。ただし、電気、ガス、水道、下水道料などは自己負担。

1年経過後、収入などの入居資格が合致すれば継続入居が可能（敷金、保証人は必要）。4月中旬ごろから入居可能の予定。

入居申し込みは、各避難所や県沿岸広域振興局大船渡土木センター（大船渡地区合庁）、財団法人岩手県建築住宅センター（アイーナ）で受け付けている。郵送の場合は、〒020・8570盛岡市内丸10の1県庁建築住宅課」あてへ。

**安否情報伝言メモ**

▽三陸書人社主宰、陸前高田市高田町の佐藤幸子（紫香）さんの安否について情報をお持ちの方は、津田静月さん（TEL090・2953・2510）にご連絡を。

▽気仙町の菅野知子、真由、郁弥は、大船渡町の岡崎史絵宅に無事でいます。

▽日頃市町坂本沢41の1、佐藤克政は無事にもどりました。ご心配ありがとうございました（母・アサ子）

▽親子の安否情報をいただいた方々、ありがとうございました（村上ナオミ）

▽大船渡市盛町内ノ目12の8、鈴木電気工業所、鈴木秀樹、照美、唯斗、涼太、美穂（盛岡在住）は、盛町下館下49の鈴木和雄・道子宅（TEL080・6050・4803）にいます。

▽大船渡市末崎町の岩盤浴・石の雫は30日から4月10日まで施設を無料開放中。混雑緩和のため事前予約（TEL080・2808・0707）を。

▽大船渡市赤崎町のコレクター（TEL090・7562・3055）では、被災された方のシャンプー・ブローを無料で実施。午前9時から午後5時。31日は休業。

▽気仙歯科医師会は、綾里の綾姫ホールに臨時歯科診療所を設置。午前9時から正午まで。午後休診。不定期に休診あり、急患対応のみ。不定期に避難所で歯科相談も。熊谷優志（TEL090・4007・1973）より。

▽㈶岩手県国際交流協会は、在日外国人、国際結婚している人、避難している人でパスポートをなくしている人などに対して、知りたい情報や分からない情報、確認したい情報を多言語（英語、中国語）でお伝えします。連絡先は（TEL019・654・8900）へ。午前9時から午後5時まで。

▽大船渡東高校の生徒へ。4月5日から21日までの火、水、木に本校図書館と教室を開放します。9時から15時まで自由に登校してよいです。新入生にも開放します。

**4月から個別配達再開**

東海新報社では、今回の大津波被災翌日から緊急災害特集を避難所、一部地域などに無償個別配布を続けていますが、**4月1日**より有償の個別配達を開始することになりました。被災によって少なからずが打撃を受け、やむなく配達を休止していた販売店もありましたが、すべてが復旧に至ってはおらないものの、営業再開の体制が整った販売店から順に配達を開始いたします。

新規購読ご希望の方は、左記の販売店もしくは当社へ（TEL**0080・1661・067**2）お申し込みくださいますようお願いいたします。

◇販　売　店◇

**大船渡市**＝小松専売店（大船渡町）、山本新聞店（同）、ふなと新聞店（同）、大船渡読売（同）、ASA大船渡（大船渡町）、三浦新聞店（盛町）、盛読売（同）、ASAさかり（盛町）、千葉梅新聞店（三陸町綾里）、菅生新聞店（同越喜来）

**陸前高田市**＝高橋新聞店（小友町）、吉田新聞店（広田町）、ASA陸前高田（米崎町、高田町、気仙町、竹駒町、下矢作地区）、奥野新聞店（横田町、竹駒町、住田町全域）、山根新聞店（竹駒町・米崎町・高田町・気仙町・下矢作地区）、林新聞店（矢作町）

**住田町**＝高橋新聞店（世田米）

# 亡くなられた方々 ―29日分―

大船渡、陸前高田両市が29日までに確認した新たな犠牲者次の通り（安置場所は変更する場合があります）。

**【大船渡市】**

▽大船渡町＝山崎コズエ（83）佐藤ヨシノ（73）

▽末崎町＝松原裕人（18）

▽三陸町越喜来＝中村ミチエ（83）鎌澤ヒサノ（94）

▽同綾里＝佐々木力夫（75）

▽神奈川県＝山下貴和子（66）

**【陸前高田市】**

▽米崎中学校　菊池トナミ、鈴木りつ子、菊池朋

▽下矢作小学校　鈴木直美（38）

▽矢作小学校　熊谷ユキヲ（89）鈴木あけみ（46）菅野ハシメ（91）清水昌広（41）大和田和子（74）和田慶子、金野チトセ

▽矢作中学校　阿部忠三（92）菅野秀徳（37）上部信（76）小岩徳二（78）柴田田鶴子（59）熊谷和代（46）荻原遼（19）村上加代子、熊谷ノリ子、熊谷美智子または昌美、熊谷金夫、高橋房子、菅野清子、小松誠

▽住田町生涯スポーツセンター　岩崎清美（31）戸羽武男（66）佐々木由希子（59）岩渕トシミ、村上允子（65）佐々木好美（62）菊地博幸（49）菊地陽子（41）佐藤又吉、黄川田裕子（52）小泉チヤ子（87）

**天気**

◆きょう　晴れのちくもり、夕方一時雨

◆あす　くもり一時雨か雪

**海上**

◆きょう　1m

◆あす　1m

**あすの暦**

3月31日（旧2月27日仏滅）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日出 | 5：19 | 満潮 | 2：11 |
| 日入 | 17：54 | 〃 | 13：33 |
| 月出 | 3：24 | 干潮 | 7：46 |
| 月入 | 14：53 | 〃 | 20：02 |
| 月齢 | 26・3 | ―中潮― | （大船渡湾） |